



若年者ものづくり競技大会で銅賞を獲得した高杉さん（左から2人目）と敢闘賞に選ばれた岩山さん（左から3人目）らが県を訪れて受賞を報告（県庁）

「さらに高いレベルを」

若年者ものづくり大会 高杉さん、岩山さんが受賞

7月に広島県などで開催された第17回若年者ものづくり競技大会に本県代表として出場した秋田職業能力開発短期大学校の高杉康太さん（19）が電子回路組立ての部で銅賞を、鷹巣技術専門校の岩山創羽さん（20）が建築大工の部で敢闘賞をそれぞれ受賞した。19日に県庁を訪れて猿田和三副知事に受賞を報告。「さらに技術を磨きたい」などと、秋田のものづくりの躍進に向けて研さんを重ねる決意を語った。

県庁訪れ結果報告

フィックデザインの6職種に6人が出場した。

受賞報告には銅賞に選ばれた高杉さんと敢闘賞の岩山さんのほか、グラフィックデザイン

職業能力開発施設などでものづくりに関する技能を学ぶ

原則20歳以下の若者を対象に

した厚生労働省と中央職業能

力開発協会主催の大会。本年

度は広島県と愛知県の施設を

会場に15職種の競技が行われ、

本県からは旋盤、フライ

ス盤、電子回路組立て、建築

大工、ウェブデザイン、グラ

フィックデザインの6職種に6人が出場した。

受賞報告には銅賞に選ばれた高杉さんと敢闘賞の岩山さんのほか、グラフィックデザイン

の部で敢闘賞を獲得した秋田コアビジネスアカデミーの嵯峨拓途さんが出席した。

高杉さんは「現在の結果を踏まえ、これからも練習に励み、より良い技術者になれるよう頑張りたい」などと述べ、岩山さんは「経験不足からミスをしてしまい悔しい結果。さらに高いレベルを目指して一から練習していきたい」と話した。

猿田副知事は「受賞は日頃皆さんが積み重ねた研さんと努力のたまもの。皆さんが技術や技能を向上させることは本県の発展につながる。さらなる向上を期待する」などと述べた。